

今年3月から大豊町で暮らし始めた2組のご家族を紹介します！

須郷さんご一家



博志さん、恵子さん、理稀(りおん)さん、悠華(ゆりか)ちゃん

大阪府から中村大王地区に移住された須郷(すこう)さんです。

須郷さんは、いつかは田舎で暮らしたいなという思いがあり、縁もゆかりもなかった大豊町を大阪で行われた移住相談会を通して知られたそうです。実際に行きどんどこか見てみたいと、高知県が主催した嶺北移住体験ツアーに参加し移住を決意されたそうです。

移住の決め手は空き家だったそうです。自分たちが思い描く理想の家が借りられることになり、今はお孫さん二人と二匹のワンちゃんとで暮らしておられます！私も取材に行き、お家の感じやそこに見える景色になんだか癒されました。

「下の家の方が、丁寧に野菜作りを教えてくれる。時々心配して何か持ってきてくれる。本当に優しい方に囲まれて毎日感謝しています。」と笑顔。移住をしてきて仕事に困ったときも、色々お世話をしていただけたそうです。

「11月までは仕事が決まったが、その先の仕事が見つからないので少し心配している。何か求人があれば教えてほしいです。」とのこと。何か情報があればNPO法人元気おおとよへご連絡お願いいたします！

明るく元気な須郷さん一家にお会いして、私も元気を分けてもらいました！（中平）

窪田さんご一家



ビノッドさん、文(あや)さん、会花(えか)ちゃん、ひいらぎちゃん、吏師(りし)くん

埼玉県から永渕地区に移住された窪田(くぼた)さんです。

一家を囲んで開催された永渕地区の懇親会にお邪魔させていただきました！



賑やかな声に誘われて永渕集会所に入ると、テキパキ仕込みをする奥さん、談話する旦那さん、自由にあちこち遊んでいる子供たち、それを見守るおじいちゃん、おばあちゃん。おしゃくが始まるとワイワイ呑んで話して、カラオケで盛り上がって、みんな仲がいい。家族のようなホッとする空間。そんな明るい雰囲気のない永渕地区を一段と明るくするように窪田さん一家が引っ越してきました。

インド人のビノッドさんと埼玉県出身の文(あや)さん、3人の元気なお子さんの5人家族。

お二人の出会いはインド。文さんがトレッキング目的で訪れたインド北部ヒマラヤ地方でのこと。どうしても行きたかった奥地へのガイドを買ってでたビノッドさん。二人で見た山の風景が今でも忘れられないそうです。はじめはインドから離れたくなかったビノッドさんですが、結婚を期に日本で生活することを決意。子どもも増え、自然豊かな土地を探し出しました。

はじめて大豊を訪れた際、山の上にひろがる集落、そこで営まれている人々の生活を垣間見て、大好きなヒマラヤをすぐに思い出したそうです。九州四国をまわっていく中で出会った永渕地区。「ここだ！」と宝くじに当たったような気分になったとか。今後はビノッドさん得意のインドカレーで食堂を開きたいそうです。私は以前に食べさせてもらう機会があり、これが絶品！みなさんもお楽しみに！（猪野孔）



求む！空き家・アルバイト情報

あなたの住む集落で「貸したい／売りたい」空き家をご存じないですか？

大豊町での暮らしを望む方がいます。

文化・風習を継承したい方がいます。

貸しても（売っても）いい

という家主さんがいたら

ぜひご連絡ください！

空き家・アルバイトに関する情報を募集しています。

お気軽にお問い合わせください。

電話 **080-8635-2253**

担当：野田 受付 9:00~19:00

求む、空き家！

空き家に明かりをともしましょう

移住・空家相談：080-8635-2253



今年で5回目となる、ヴィレッジ 2017 ～モノと食、音が奏でる土日市～が、5月20日（土）・21日（日）の二日間にわたり、鏡川みどりの広場・鷹匠公園・山内神社にて開催されました。天候にも恵まれ、約150店舗、二日間で延べ3万人以上の来場者で大盛況のうちに終了しました。

ヴィレッジとは、主に高知県内で活動している各種工芸など「ものづくり」の作家や国内外から参加いただいた個性豊かな工芸品や古道具などを取り扱うショップ、素材や調理方法にこだわりを持っている飲食店などを一同に集め、発表と交流の場を提供しようとする高知県最大のイベントです。

今回「おおとよガレット」は、2年ぶり2回目（大人気のイベントのため、昨年は抽選に漏れました）しかも昨年の秋から自分たちで栽培し収穫した、大豊産そば粉を使用しての出店に挑みました。まだ収量が十分でないため、他の産地のそば粉との混合でしたが、風味や粘



りがいつもより強かったように感じましたし、「大豊産」という響きと「ガレット」を販売するに至ったストーリーが多くのお客様の興味を引いたようです。

10:00の開店から、ほどなく行列ができ始め、15:00ごろまで途絶えることがありませんでした。目標の1日250食を閉店時間より前に完売したのは、2年前と比べてスタッフの手さばきが熟練され、注文を受けてから提供するまでの時間が短縮されたからだと思われます。暑い中、立ちっぱなしで休憩も取れないぐらいの過酷な2日間でしたが、たくさんの方にそば粉の新しい食べ方、「NPO法人元気おおとよ」の活動を知っていただけたことは、参加スタッフにとっては疲れを吹き飛ばすほどの充実感だったようで、完売した直後から「次回は300食いけそうですね」と心強い言葉も出たほどです。

今後も「おおとよガレット」の販売を通して、大豊のそば文化を継承していきたいと思います。（野田）

お山の手づくり市 大豊町初開催！！

2017.5.28

5月28日に開催された「お山の手づくり市」は初めて大豊町が会場となりました。

場所は津家の旧大豊園の裏手の敷地で、数年前から元気おおとよが借り受け整備を行ってきた、とても広い庭のある古民家です。

この日は気持ちのいい天気となり、来ていただいたお客さんたちも会場までの坂道の木漏れ日を楽しんだり、会場ではゆったりとして気持ちの良い空間で買い物を楽しんだり、テーブル席で談笑しながらくつろいだ時間を過ごしていただけたようでした。

荒れ放題だった広場を、特にこの冬からは岩原の岡田造園さんをお願いして整地していただき、私たちもその手伝いでこの広場の整備に力を注いだので、今回こうして開催することができて本当にうれしく思います。

この津家の古民家は夏でも涼しいので地元の人がよく涼みに来ていたことからスズミドウと呼ばれていたそうです。私たちも地元の方々から親しまれてきたこの場所を、大豊町の方々や嶺北の方々を中心にもっと活用していただけるように、もっと良いものにしていきたいと考えています。皆さんに覚えていただけるような良いネーミングも現在考えているところです。（猪野大）



「地域活動・認知症カフェ看板づくり」教室開催

2017.6.1



大豊町内の各地域に、新しく「認知症カフェ」（認知症の方やご家族が気軽に立ち寄れる場所）を設置するにあたって、公民館や集会場に掲げる「看板づくり教室」を大豊町住民課より依頼され、地域のために活動されている方々と一緒に作成しました。和気あいあいとした雰囲気のおかげで、皆さん楽しんで素敵な看板を作ってくださいました。

今回参加できなかった地域の方にも、別の機会に作成していただけますので、大豊町住民課・地域包括支援センター班までお問い合わせください。（野田）